

トヨタ純正

インテリアイルミネーション (フロアフロントブルー)

取付要領書

このたびは、トヨタ純正 インテリアイルミネーション（フロアフロントブルー）をお買いあげいただきましてありがとうございます。

本書は、インテリアイルミネーション（フロアフロントブルー）の取り付け要領について記載してあります。取り付けの前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品 番

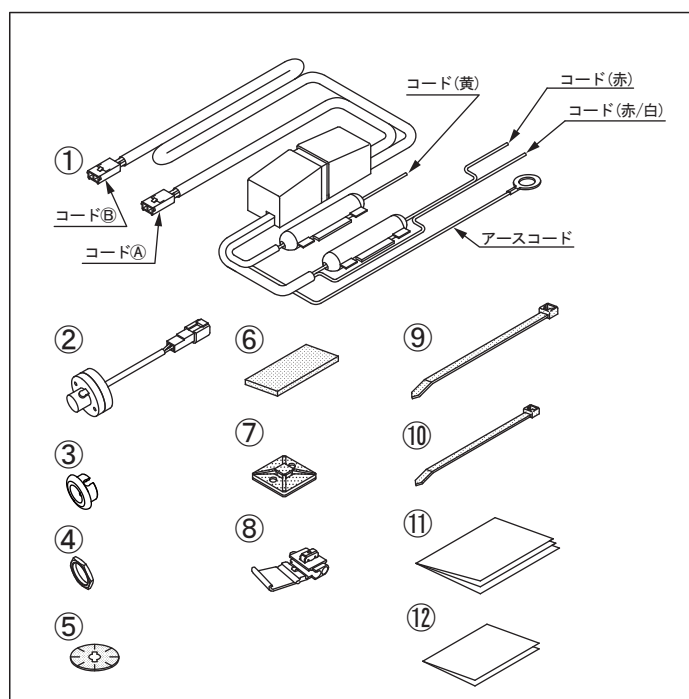
品 番

0852B-B2040

0852B-B2050

構成部品名

・取り付けの前に以下の表に従って部品がそろっているかご確認ください。



No.	品 名	個数
①	ユニットAssy	1
②	ランプAssy	2
③	ランプガーニッシュ	2
④	ナット (M12)	2
⑤	和紙パッキン	2
⑥	ウレタンフォーム (60×35×5)	3
⑦	バンドホルダー	1
⑧	エレクトロタップ	3
⑨	クランプ (大)	13
⑩	クランプ (小)	16
⑪	取付要領書 (web)	1
⑫	取扱書	1

①ユニット Assy のコード長
コードA 250 mm
コードB 1700 mm

本製品は車両年式によって一部異なる作業となります。
異なる作業は、【年式】を記載していますので、ご確認の上、ご対応する作業のみ行ってください。

トヨタ自動車株式会社

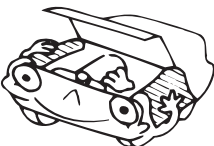
電装用品取り付け上の注意

このたびは、純正部品をお買上げいただき、ありがとうございます。

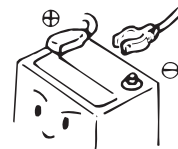
電装用品を正しく取り付けいただくために、この「電装用品取り付け上の注意」を必ずお読みください。誤って取り付けた場合、電装用品の機能を阻害するばかりでなく、車両機能を損ない、ひいては車両故障につながる恐れがあります。また、その際には保証の対象にはなりませんのでご注意ください。

取り付ける前に

- (1) 車両を汚したり、傷を付けないように作業部周辺にはカバーを付けてください。



- (2) ハーネスのショート事故防止のため、必ずバッテリーの(－)端子を外してください。



部品の取り付けは

- (1) 裏側のハーネスをかみ込んで、ボルト・ナットを締め付けないでください。



- (2) 取り付け穴をあける時は、必ず裏側になにも無いことを確認してください。

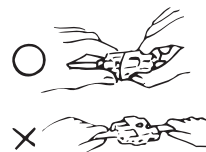


ハーネスの配線は

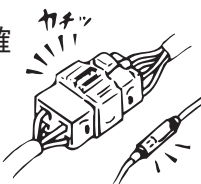
- (1) 車両ハーネスは、強く引っ張らないでください。コネクタ外れやハーネス損傷の原因になります。



- (2) コネクタは、リード線を引っ張らず、コネクタ本体を持って外してください。



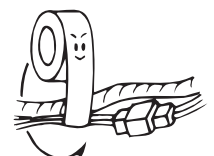
- (3) コネクタやターミナルは確実に接続してください。



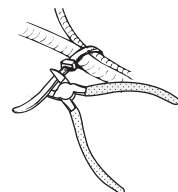
- (4) ハーネスが、車両内側のエッジや高熱部分・可動部分に接触していないか確認してください。



- (5) ハーネスやリード線は、ブラブラしないように車両ハーネス等にまとめ、テーピングで固定してください。

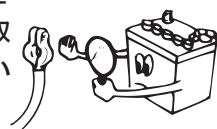


- (6) バンドクランプを使用した箇所は、必ずバンドクランプ先端の余り部を切断してください。



取り付けが終わったら

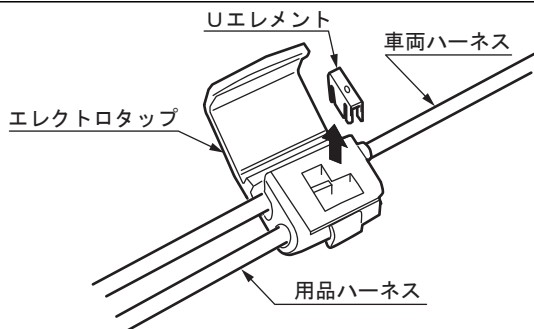
- (1) バッテリーの(－)端子を接続する前に、いま一度取り付けや配線に誤りがないか確認してください。



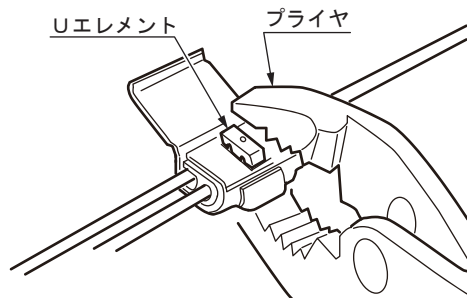
- (2) キットの作動確認を行うと同時に、車両のランプ・ホーン・ワイパー等の装置が正常に作動するか確認してください。



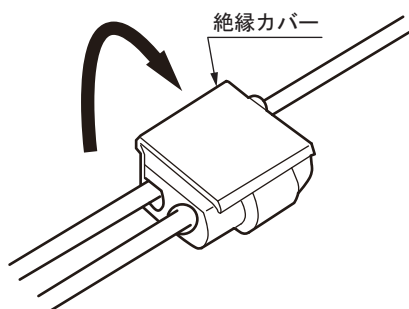
エレクトロタップ(分岐コネクタ)の接続要領



- A. Uエレメントを取り外します。
本書指示の車両ハーネスをコネクタの側面から挿入します。
用品ハーネスは横の差し込み孔からストッパーの位置まで十分深く挿入します。



- B. プライヤでUエレメントを完全に押し込みます。
※プライヤは歯と歯の間をあけて使用してください。



- C. フック付き絶縁カバーを倒してロックします。

⚠ ご注意

プライヤを用いて接続する場合、Uエレメントを左右均等の力で押し込み、コネクタ本体の面とUエレメントの面が同一となるまで完全に押し込んで下さい。圧接後、Uエレメントがななめの状態になっていないか、完全に押し込まれているかなどの確認をして下さい。

Uエレメントを押し込み後、テスターにて導通チェックを行ってください。

取り付け上の注意事項

本書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

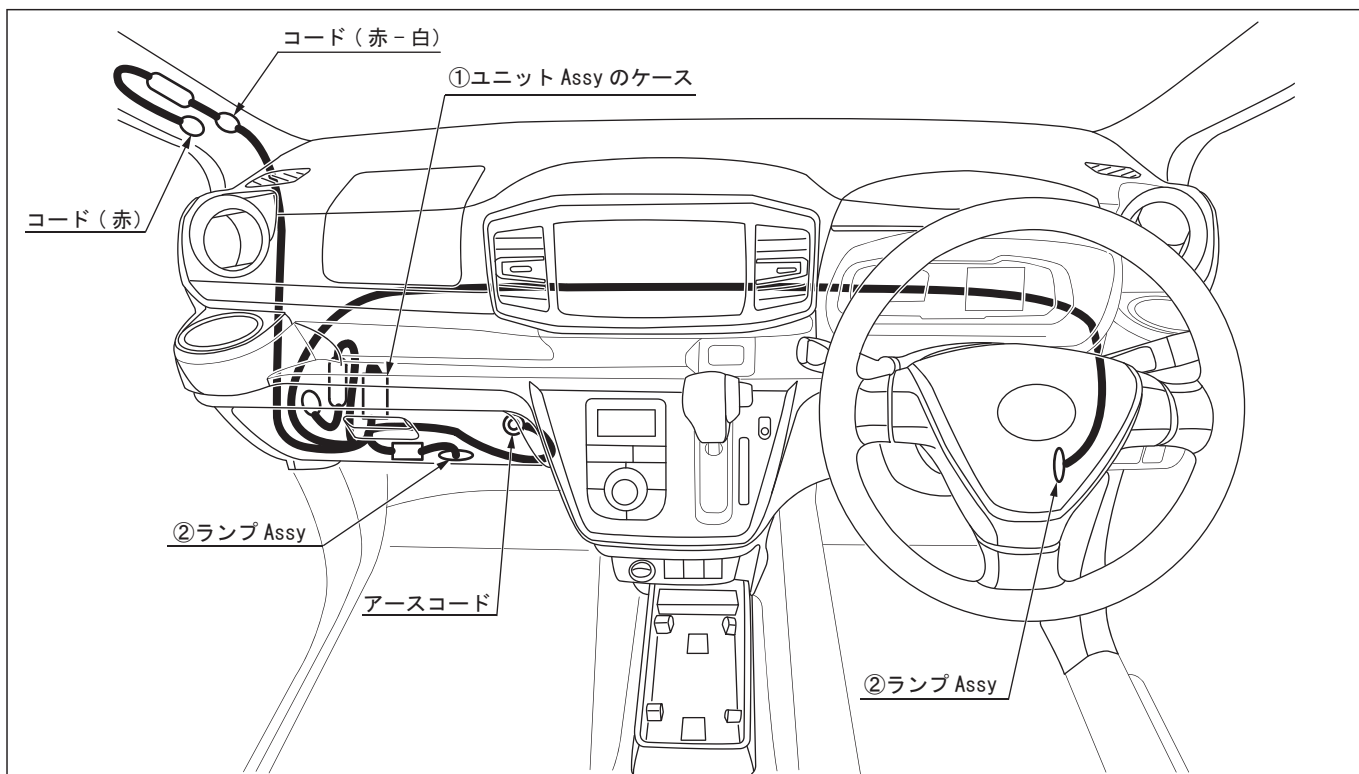
⚠ ご注意	注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷するなどの恐れがあることを記載しています。
👉 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

1. 取り付ける前にパーキングブレーキが掛かっていることを必ず確認してください。
2. 取り付ける前にボディ保護のカバーを付けてください。
3. 車両部品の取り外しに際して、タッピングスクリュやボルト、ナット類の紛失や混乱がないように部品ごとに整理して、復元する際に間違えないよう配慮してください。また、傷を付けたりしないように取り扱いに注意して作業を行ってください。
4. 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
5. 貼り付け部位に油脂分や汚れが付いていますと、脱落、剥がれの原因になりますので、脱脂剤等を使用し、十分に脱脂してください。
6. 脱脂剤等を使用する場合は、火気に充分注意して作業してください。

⚠ ご注意

ワイヤーハーネスは車両板金エッジ、可動部、樹脂バリに干渉しないように配線し、確実に固定してください。

取り付け概要

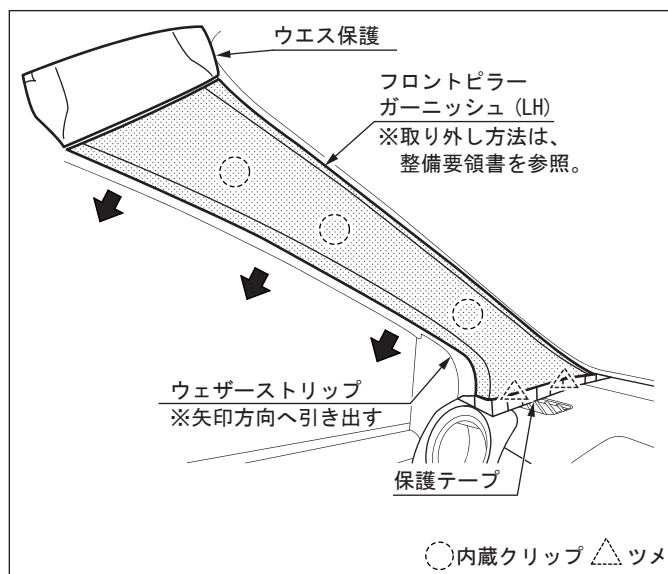


取り付けに必要な工具等

⊕ドライバー、クリップリムーバー、クリップクランプツール、ケガキ針、丸・角棒ヤスリ、電動ドリル、ドリル (φ3)、ホルソー (φ12)、スケール、ビニールテープ、ガムテープ、接着テープ、保護テープ、プライヤ、ラジオペンチ、スパナ (10、14)、ハサミ、ニッパー、トルクレンチ、脱脂剤、テスター、ウエス、油性ペン、保護メガネ等

取り付け要領

本書は運転席側の取り付けを示しており、助手席側も同様に取付けてください（特記部を除く）。



〔車両部品の取り外し〕

1. 下記部品を取り外します。

△ ご注意

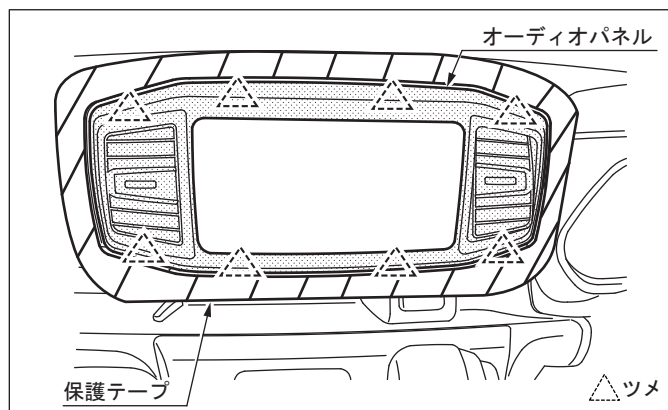
1. 取り外した部品は再使用しますので、傷を付けたり紛失しないように保管してください。
2. 指示のある部分は傷付防止の為、必ずウエスや保護テープを貼り作業してください。

(1) フロントピラーガーニッシュ (LH)

(○内蔵クリップ：3ヶ所 △ツメ：2ヶ所)

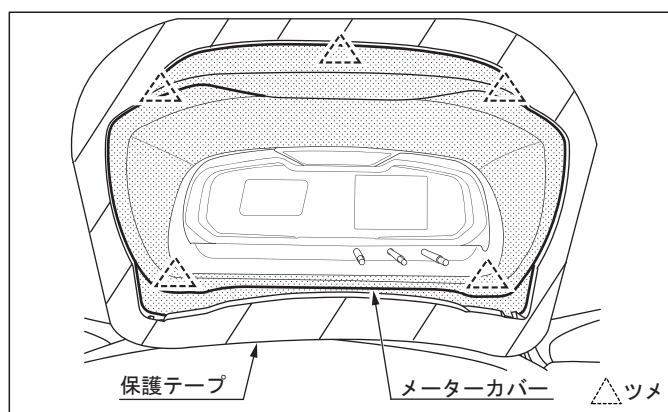
△ ご注意

フロントピラーガーニッシュを取り外す際、クリップクランプツールを使用して取り外しを行ってください。
クリップクランプツールを正しく使用しないとフロントピラーガーニッシュが変形するおそれがあります。
正しい取り外し方法は、整備要領書を参照し、作業を行ってください。



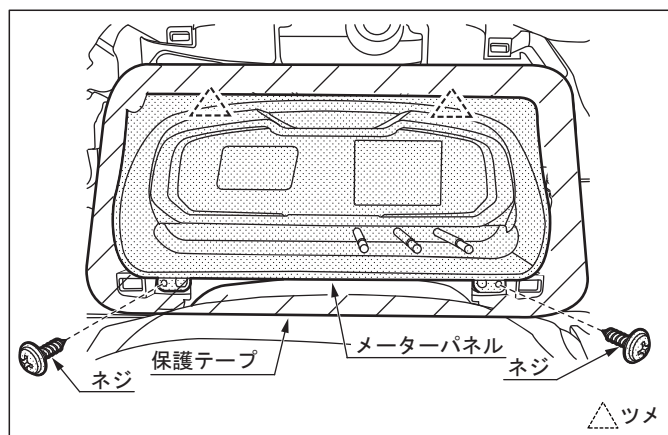
(2) オーディオパネル

(△ツメ：8ヶ所)



(3) メーターカバー

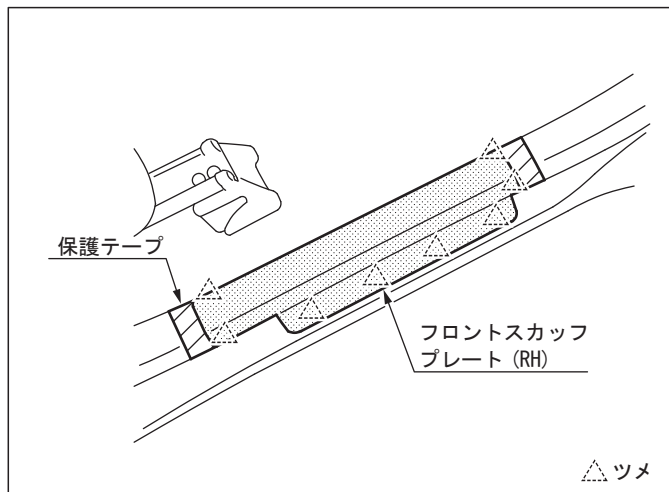
(△ツメ：5ヶ所)



(4) メーターパネル

(△ツメ：2ヶ所)

(ネジ：2本)



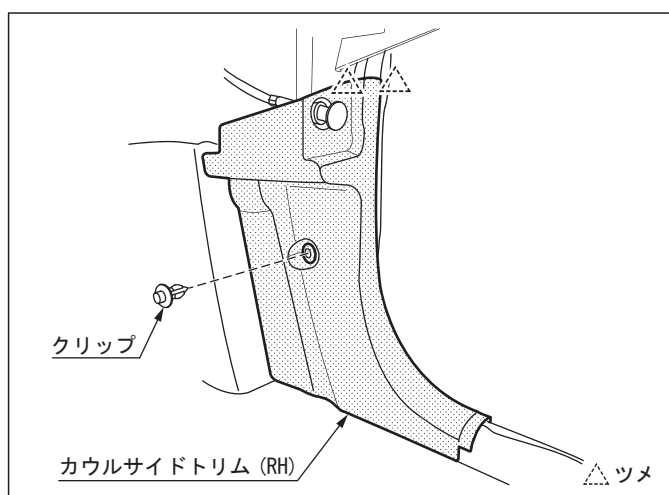
(5) フロントスカッフプレート (RH)

傷付き防止のため、左図指示部に保護テープを貼り、フロントスカッフプレート (RH) を取り外します。

(△ ツメ : 8 ヶ所)

アドバイス

左図は運転席側を示しています。助手席側も同様に取外しを行ってください。



(6) カウルサイドトリム (RH)

(クリップ : 1 個)

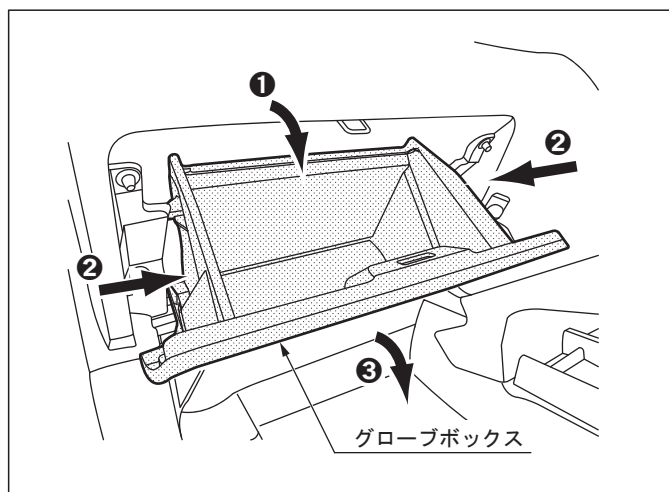
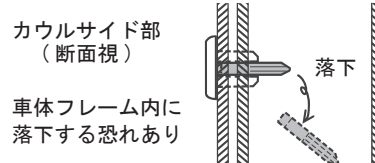
(△ ツメ : 2 ヶ所)

アドバイス

左図は運転席側を示しています。助手席側も同様に取外しを行ってください。

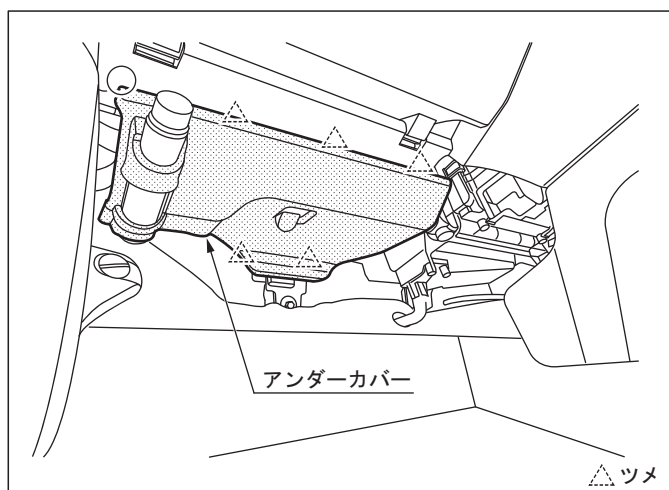
ご注意

樹脂クリップを取り外す際にピンを強く押し込みすぎると、車体フレーム内にピンが落下し、取り出せなくなる恐れがあります。



(7) グローブボックス

- ① グローブボックスを開きます。
- ② グローブボックスの側面を内側へ押し、中央にたわませてストッパを外します。
- ③ グローブボックスを下に開き、ヒンジ部分を外し、グローブボックスを取り外します。



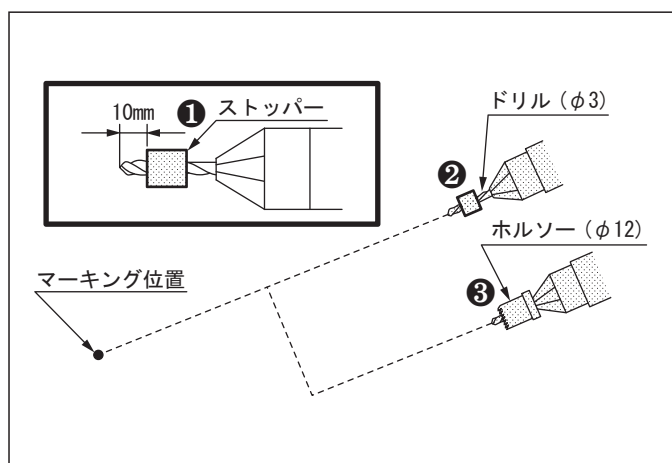
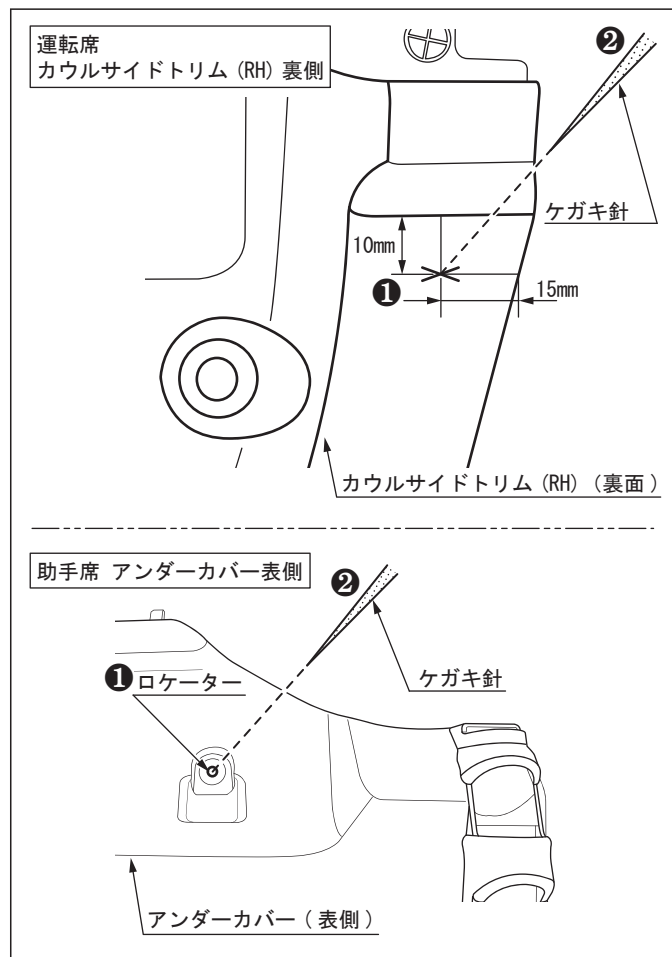
(8) アンダーカバー

ツメ 5 ヶ所の嵌合及び○部の引っ掛けを外し、アンダーカバーを取り外します。

(△ ツメ : 5 ヶ所)

アドバイス

○部の引っ掛けは変形しやすいので注意して作業を行ってください。



〔ランプ Assy の取り付けと固定〕

1. 車両部品の穴あけ

(1) 運転席カウルサイドトリム (RH) 裏側に①～②の手順でマーキングします。(1ヶ所)

① 左図を参照し、運転席カウルサイドトリム (RH) 裏側に左図寸法でマーキングします。

⚠ ご注意

穴あけ寸法を間違えないようにしてください。

② マーキングした運転席カウルサイドトリム (RH) 裏側にケガキ針を貫通させます。(1ヶ所)

(2) 助手席アンダーカバー表側に①～②の手順でマーキングします。(1ヶ所)

① 左図を参照し、助手席アンダーカバー表側にあるロケーターにマーキングします。

⚠ ご注意

ロケーターを間違えないようにしてください。

② 助手席アンダーカバー表側にマーキングしたロケーターにケガキ針を貫通させます。(1ヶ所)

(3) 左図を参照し①～③の順番で作業を行います。(計2ヶ所)

① ドリルの先端から 10mm の位置にガムテープを巻いてストッパーをつけます。

② 車両部品の裏側からマーキング位置にドリル (φ3) で面直に下穴をあけます。

③ 下穴からホルソー (φ12) で面直に穴をあけます。

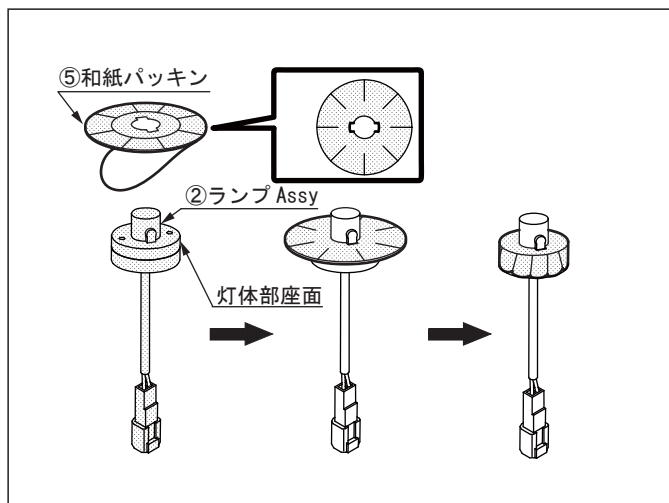
⚠ ご注意

- ・ 穴あけ加工の際は、保護メガネを着用して作業してください。
- ・ 穴あけ加工の際は、巻き込み防止のため、手袋などは着用しないでください。
- ・ ドリル及びホルソーで穴あけ作業する際は、必ず車両部品裏側から行ってください。
- ・ 穴あけ加工の際は、穴あけ位置を間違えないようご注意ください。

(4) 穴あけ部のバリを取り除きます。

⚠ ご注意

ホルソーであけた穴の表面にバリ等がある場合は、丸棒ヤスリで穴径を広げないように注意しながら表面のバリを取ってください。

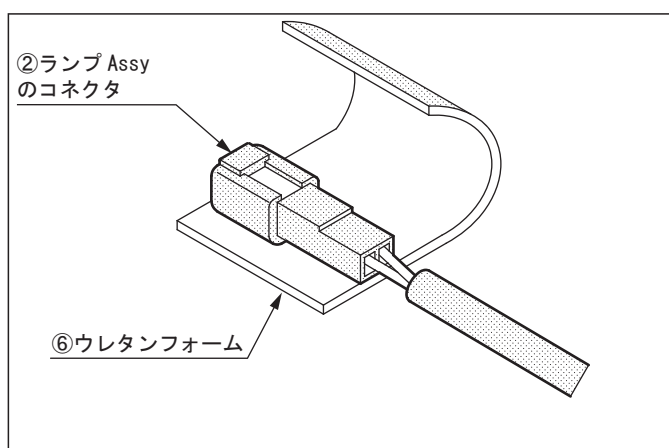


2. ②ランプ Assy の取り付け

- (1) 図のように⑤和紙パッキンを②ランプ Assy の凸部の形状に合わせて貼り付けます。

アドバイス

1. ⑤和紙パッキンの貼り付け部位は、油脂分を脱脂剤できれいに拭き取ってから貼り付けてください。
2. ⑤和紙パッキンは②ランプ Assyの座面を覆うように貼り付けてください。光漏れの原因になります。

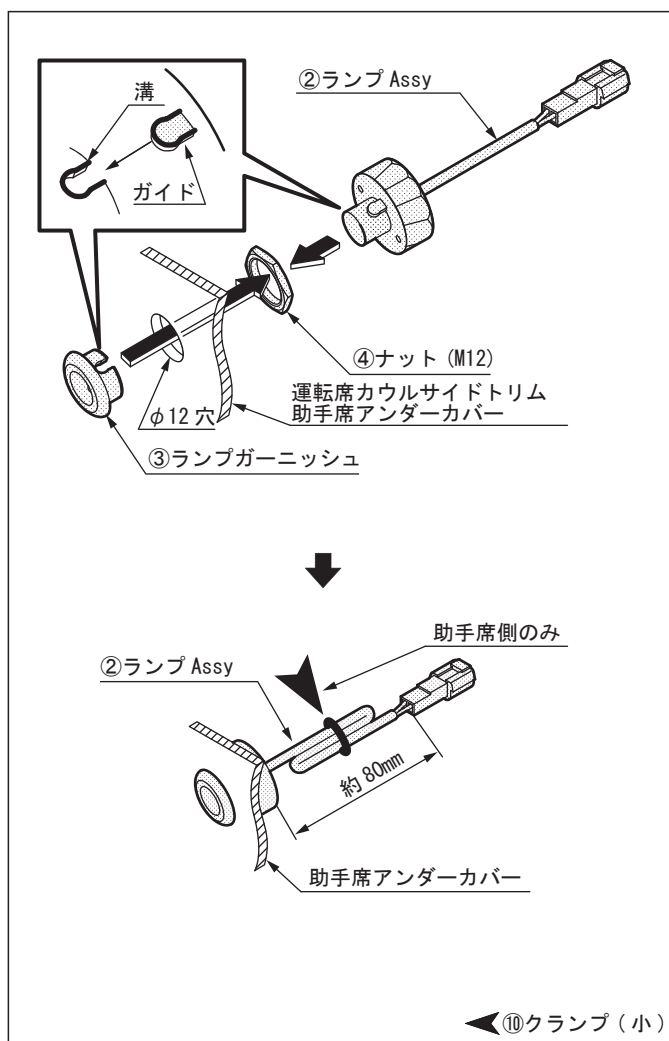


3. ⑥ウレタンフォームの巻き付け

- (1) 左図のように②ランプ Assy のコネクタに⑥ウレタンフォームを巻き付けます。

アドバイス

- ⑥ウレタンフォームの貼り付け部位は、油脂分を脱脂剤できれいに拭き取ってから貼り付けてください。



4. ②ランプ Assy の固定

- (1) ③ランプガーニッシュをホルソー (φ12) であけた穴に組み付け、④ナット (M12) で固定します。
- (2) ②ランプ Assy のガイドを③ランプガーニッシュの溝に合わせてロックがかかるまで押し込みます。

アドバイス

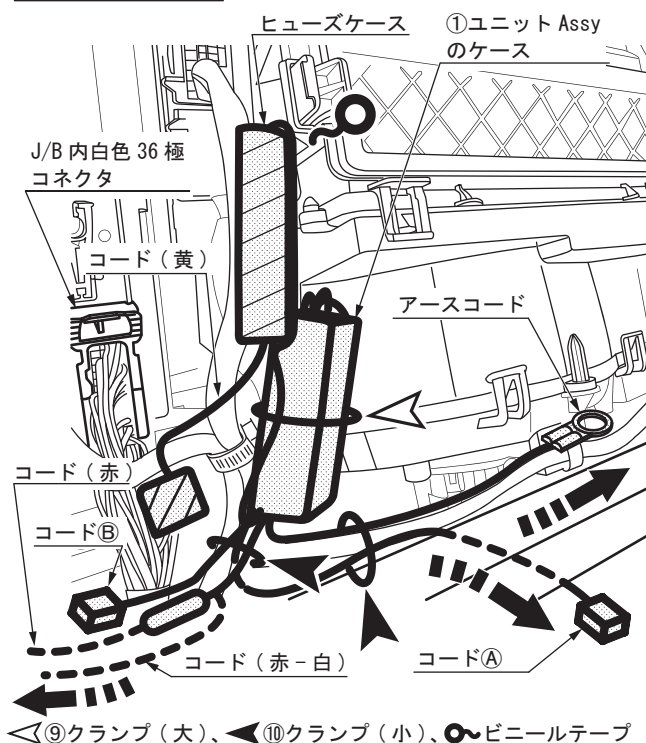
- ②ランプ Assy の組み付けの際、必ず③ランプガーニッシュの溝を合わせ、ロックがかかるまで確実に押し込んでください。

- (3) ②ランプ Assy のハーネスを図のように約 80mm に束ねて ◀ ⑩クランプ (小) で固定します。

アドバイス

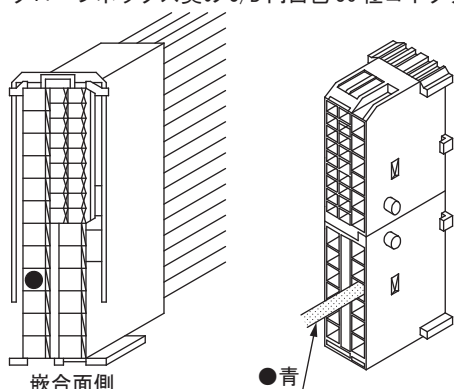
- 運転席側は ◀ ⑩クランプ (小) で固定しないでください。

グローブボックス奥



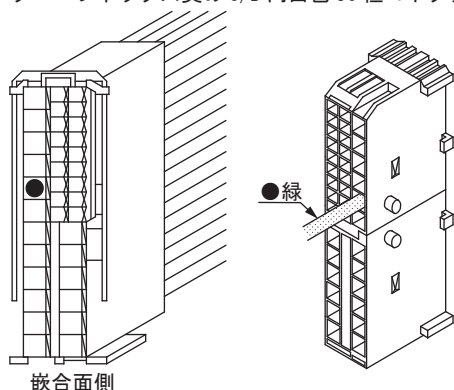
2026 年 7 月以前の場合

グローブボックス奥の J/B 内白色 36 極コネクタ



2026 年 8 月以降の場合

グローブボックス奥の J/B 内白色 36 極コネクタ



〔ユニット Assy の配線〕

⚠ ご注意

ワイヤハーネスは車両板金エッジ、樹脂バリ、可動部を避けて配線し、干渉しないように確実に固定してください。

- ①ユニット Assy のケース固定
 - ①ユニット Assy のケースを左図のようにヒューズブロック横の ECU のハーネスに⑨クランプ (大) で 1 ヶ所固定します。
- ①ユニット Assy の電源取り出しと配線

2026 年 7 月以前の場合 ※年式により作業が異なります

- ①ユニット Assy のコード (黄) をグローブボックス奥の J/B 内白色 36 極コネクタの青線に⑧エレクトロタップで接続します。

白色 36 極コネクタのコード	①ユニット Assy のコード
青	● 黄

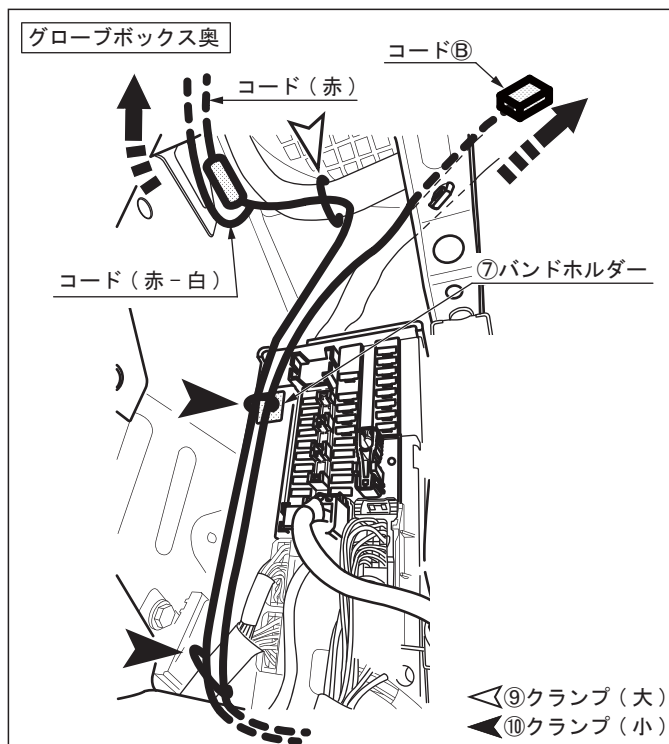
2026 年 8 月以降の場合 ※年式により作業が異なります

- ①ユニット Assy のコード (黄) をグローブボックス奥の J/B 内白色 36 極コネクタの緑線に⑧エレクトロタップで接続します。

白色 36 極コネクタのコード	①ユニット Assy のコード
緑	● 黄

👉 アドバイス

- ⑧エレクトロタップの接続は、3/16 ページの“エレクトロタップ (分岐コネクタ) の接続要領”を参照してください。
 - ⑧エレクトロタップによる接続の際、車両ハーネスに保護テープが巻かれている場合は必要に応じてテープをカットし、接続後⑧エレクトロタップの上からビニールテープを巻き付けてください。
 - 車両ハーネスの線色と①ユニット Assy のコードの線色とは異なりますが、問題ありません。
- ①ユニット Assy のヒューズケースを図の位置にある車両ハーネスにビニールテープを巻き固定します。
 - ①ユニット Assy のコード A、B、(赤-白)、(赤) を図の位置にある車両ハーネスに⑩クランプ (小) で 2 ヶ所固定します。



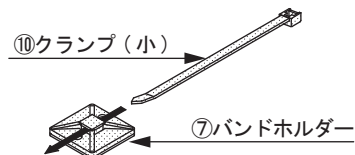
- (4) ⑦バンドホルダー 1 個を左図の位置でヒューズブロックに貼り付けます。

アドバイス

⑦バンドホルダーの貼り付け面は、油脂分を脱脂剤できれいに拭き取ってください。

- (5) ①ユニット Assy のコード(赤)、(赤-白)、⑧を図のように ◁ ⑨クランプ(大) で 1ヶ所 ◁ ⑩クランプ(小) で 2ヶ所、車両ハーネスと⑦バンドホルダーで固定します。

⑦バンドホルダーを使用した固定方法



アドバイス

⑥ウレタンフォームの貼り付け部位は、油脂分を脱脂剤できれいに拭き取ってから貼り付けてください。

2026 年 7 月以前の場合 ※年式により作業が異なります

- (6) ①ユニット Assy のコード(赤)と(赤-白)をフロントピラーガーニッシュ(LH)裏側の白色 18 極コネクタの桃線と緑線に⑧エレクトロタップで接続します。

白色・18 極コネクタのコード	①ユニット Assy のコード
桃	○ 赤
緑	● 赤-白

アドバイス

- ⑧エレクトロタップの接続は、3/16 ページの“エレクトロタップ(分岐コネクタ)の接続要領”を参照してください。
- ⑧エレクトロタップによる接続の際、車両ハーネスに保護テープが巻かれている場合は必要に応じてテープをカットし、接続後⑧エレクトロタップの上からビニールテープを巻き付けてください。
- 車両ハーネスの線色と①ユニット Assy のコードの線色とは異なりますが、問題ありません。

- (7) 左図のように①ユニット Assy のコード(赤)のヒューズケースに⑥ウレタンフォームを巻き付けます。

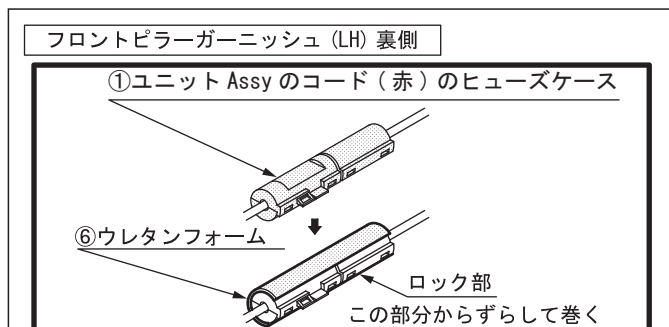
△ ご注意

素線部は、ビニールテープにて保護処理を行い、車両ハーネスに確実に固定してください。

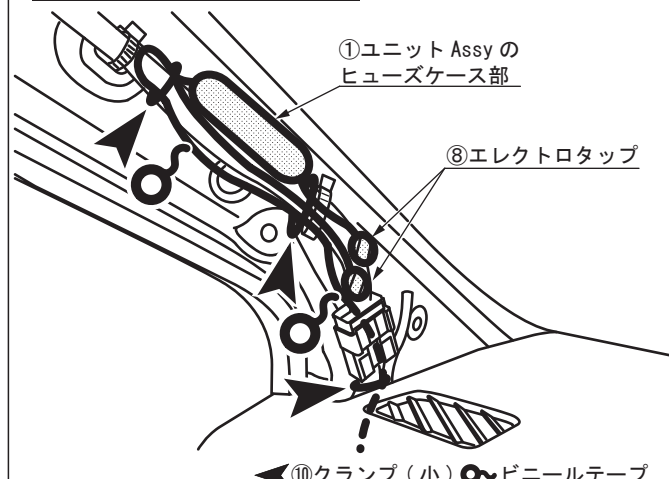
- (8) ①ユニット Assy のコードを図のように車両ハーネスに沿わせて配線し、素線部を ○ ビニールテープで固定し、◁ ⑩クランプ(小) で 3ヶ所固定します。

△ ご注意

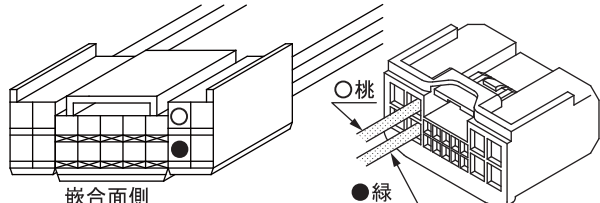
フロントピラーガーニッシュ(LH) 復元時に①ユニット Assy ハーネスが車両部品にかみ込まないように注意して車両ハーネスに確実に固定してください。



2026 年 7 月以前の場合

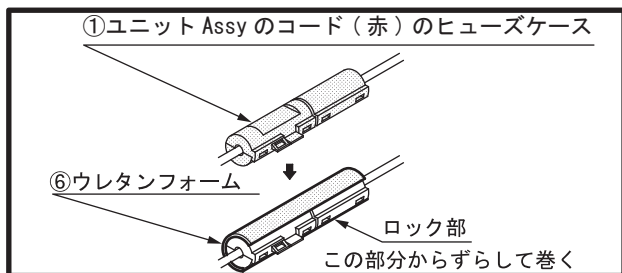


フロントピラーガーニッシュ(LH) 裏側の白色・18 極コネクタ

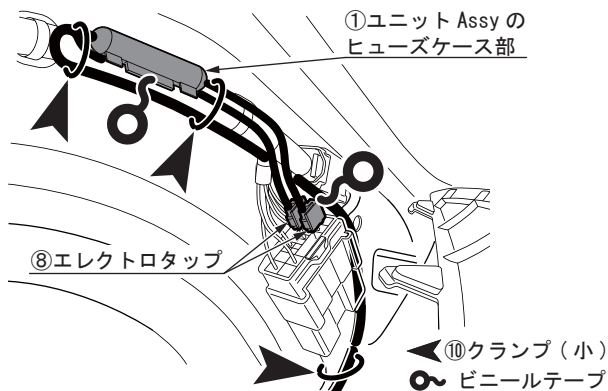


- …桃 → ①ユニット Assy のコード(赤)と接続
●…緑 → ①ユニット Assy のコード(赤-白)と接続
(他のハーネスは省略しています。)

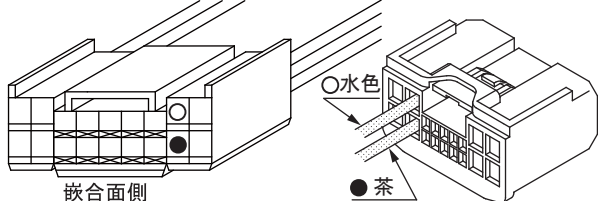
フロントピラーガーニッシュ (LH) 裏側



2026 年 8 月以降 18 極コネクタの場合

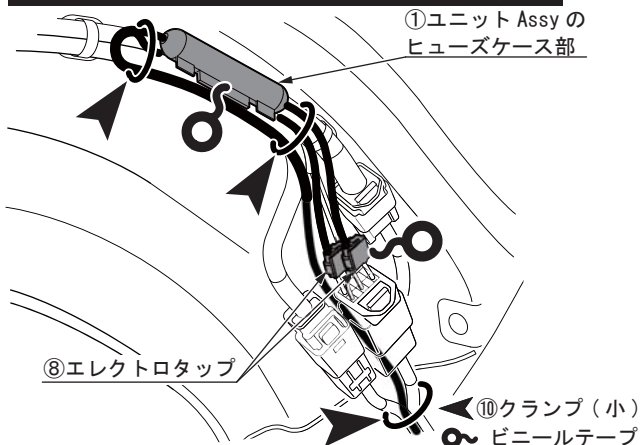


フロントピラーガーニッシュ (LH) 裏側の白色・18 極コネクタ

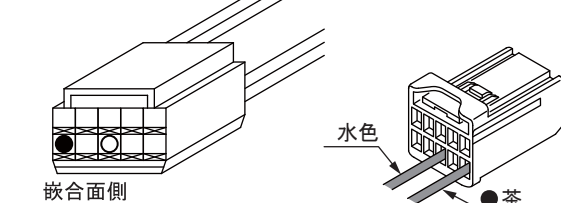


- ・・・水色 → ①ユニット Assy のコード (赤) と接続
 - ・・・茶 → ①ユニット Assy のコード (赤 - 白) と接続
- (他のハーネスは省略しています。)

2026 年 8 月以降 10 極コネクタの場合



フロントピラーガーニッシュ (LH) 裏側の白色・10 極コネクタ



- ・・・水色 → ①ユニット Assy のコード (赤) と接続
 - ・・・茶 → ①ユニット Assy のコード (赤 - 白) と接続
- (他のハーネスは省略しています。)

アドバイス

- ⑥ウレタンフォームの貼り付け部位は、油脂分を脱脂剤できれいに拭き取ってから貼り付けてください。

2026 年 8 月以降 18 極コネクタの場合

※年式により作業が異なります

- ①ユニット Assy のコード (赤) と (赤 - 白) をフロントピラーガーニッシュ (LH) 裏側の白色 18 極コネクタの水色線と茶線に⑧エレクトロタップで接続します。

白色・18 極コネクタのコード		①ユニット Assy のコード
水色	○	赤
茶	●	赤 - 白

2026 年 8 月以降 10 極コネクタの場合

※年式により作業が異なります

- ①ユニット Assy のコード (赤) と (赤 - 白) をフロントピラーガーニッシュ (LH) 裏側の白色 10 極コネクタの水色線と茶線に⑧エレクトロタップで接続します。

白色・10 極コネクタのコード		①ユニット Assy のコード
水色	○	赤
茶	●	赤 - 白

アドバイス

- ⑧エレクトロタップの接続は、3/16 ページの“エレクトロタップ (分岐コネクタ) の接続要領”を参照してください。
- ⑧エレクトロタップによる接続の際、車両ハーネスに保護テープが巻かれている場合は必要に応じてテープをカットし、接続後⑧エレクトロタップの上からビニールテープを巻き付けてください。
- 車両ハーネスの線色と①ユニット Assy のコードの線色とは異なりますが、問題ありません。

- 左図のように①ユニット Assy のコード (赤) のヒューズケースに⑥ウレタンフォームを巻き付けます。

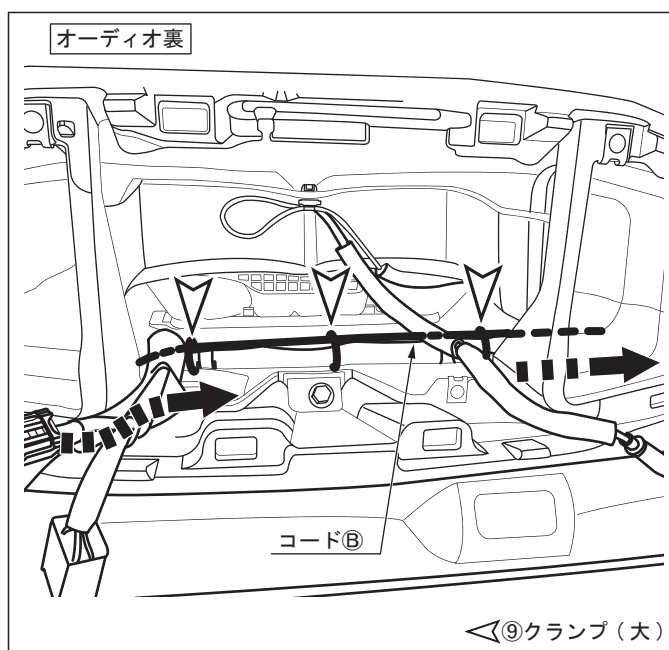
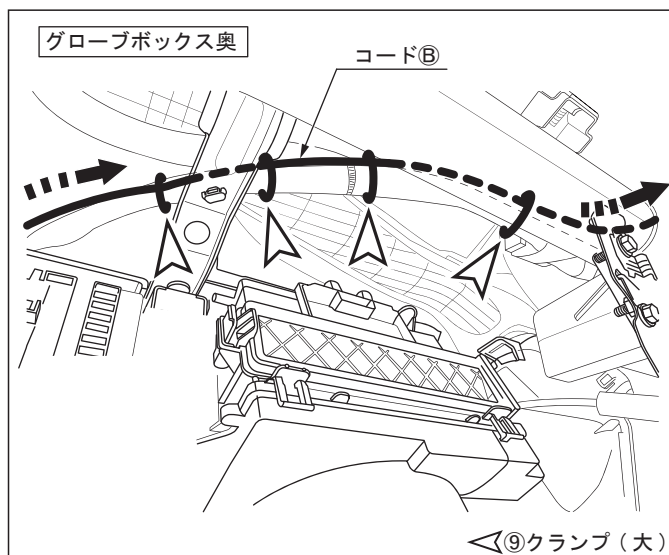
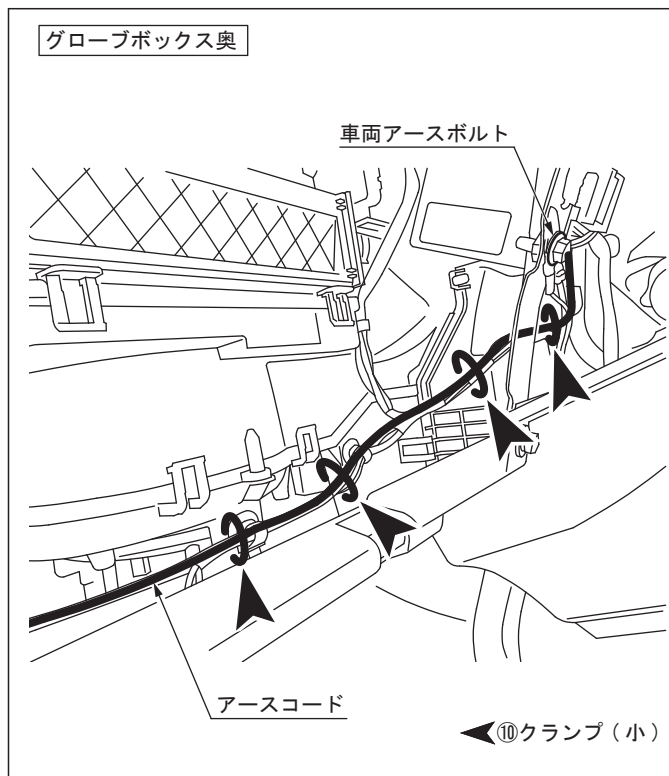
⚠ ご注意

素線部は、ビニールテープにて保護処理を行い、車両ハーネスに確実に固定してください。

- ①ユニット Assy のコードを図のように車両ハーネスに沿わせて配線し、素線部を⑩ビニールテープで固定し、⑩クランプ (小) で 3ヶ所固定します。

⚠ ご注意

フロントピラーガーニッシュ (LH) 復元時に①ユニット Assy ハーネスが車両部品にかみ込まないように注意して車両ハーネスに確実に固定してください。

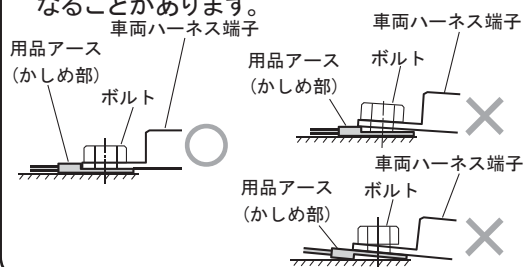


- (9) ①ユニット Assy のアースコードを図のように車両ハーネスに沿わせて配線し、◀ ⑩クランプ (小) で4ヶ所固定し、車両アースボルトと共締めします。

⚠ ご注意

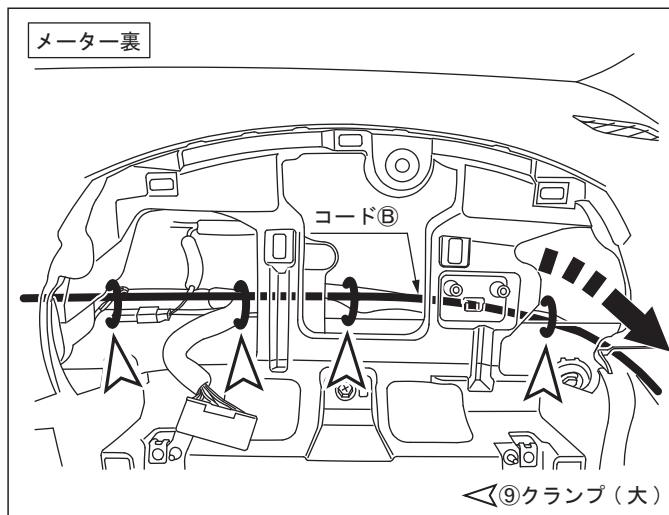
アースボルト締付トルク $T: 7.0 \sim 13.0 \text{ N} \cdot \text{m}$

- ・ボルトの締め付けは、ボルト→車両ジャンクションコネクタ→用品ハーネス→車両の順で固定してください。締付トルク確認後、ボルトの頭に油性ペンでチェックマークを付けてください。(トルク管理の抜け・漏れ防止のため)
- ・アース端子を取り付ける際は、端子のかしめ部が車両ハーネス端子のかしめ部と重ならないようにしてください。アース端子の取付不良となる恐れがあります。
- ・アース端子を取り付ける際は、端子のかしめ部をボデー側に向けないでください。アース端子の取付不良となる恐れがあります。
- ・アース端子の取付不良があると、動作不良の原因となることがあります。

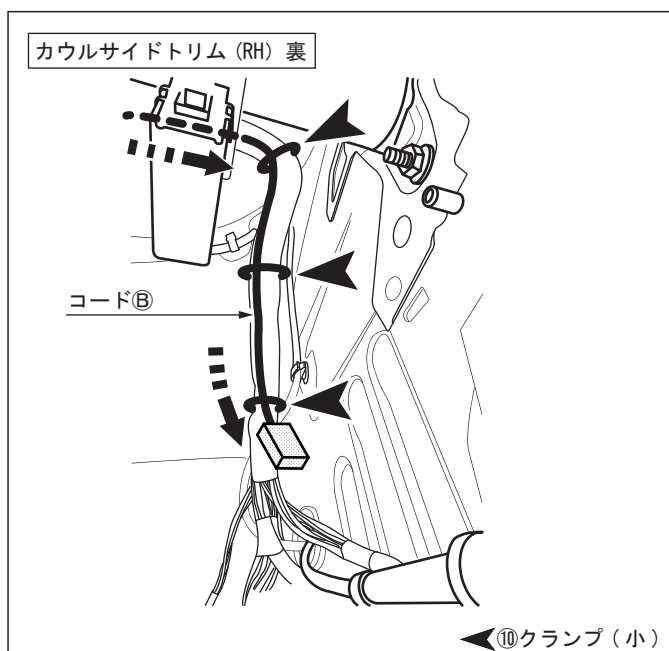


- (10) ①ユニット Assy のコードBを図のように車両ハーネスに沿わせて配線し、◀ ⑨クランプ (大) で4ヶ所固定します。

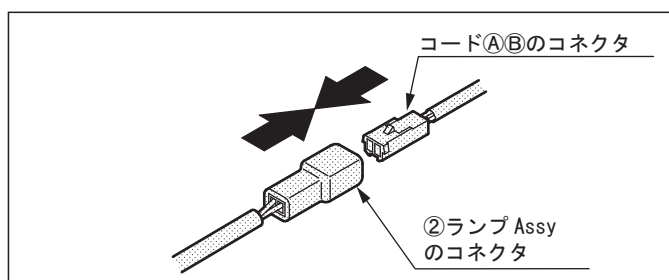
- (11) ①ユニット Assy のコードBを図のように車両ハーネスに沿わせて配線し、◀ ⑨クランプ (大) で3ヶ所固定します。



- (12) ①ユニット Assy のコードBを図のように車両ハーネスに沿わせて配線し、⑨クランプ (大) で4ヶ所固定します。

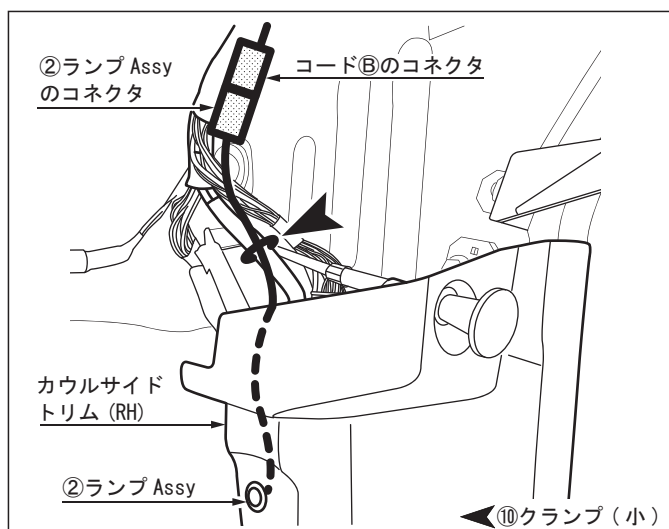


- (13) ①ユニット Assy のコードBを図のように車両ハーネスに沿わせて配線し、⑩クランプ (小) で3ヶ所固定します。



3. コネクタの接続

- (1) ①ユニット Assy のコードA/Bのコネクタと②ランプ Assy のコネクタを接続し、カウルサイドトリム (RH) とアンダーカバーを復元します。



- (2) 運転席側は①ユニット Assy のコードBのコネクタを接続後、左図位置にて②ランプ Assy のコードと余長を ⑩クランプ (小) で1ヶ所固定します。

アドバイス

〔ランプ Assy の取り付けと固定〕の4. (3) で②ランプ Assy ハーネスを約 80mm に束ねていない方を運転席側に使用してください。

取り付け完了後の確認

1. 取り付けの確認

- (1) 配線や取り付けに異常がないか点検してください。
- (2) 特に車両ハーネス及びインテリアイルミネーション（フロアフロントブルー）のハーネスを無理に押し、引っ張ったり、かみ込んだりしていないか点検してください。
- (3) クランプ及びバンドの外れや、部品の締め付け忘れはないかももう一度確認してください。

2. 作動確認

バッテリーの（-）側ケーブルを接続してください。

本製品の機能を、下記表に従い、①～④の順に確認してください。

	ドア：開	ドア：閉
スモールランプ：点灯	①明るく点灯	② <u>淡く</u> 点灯
スモールランプ：消灯	③明るく点灯	④消灯

※本製品は室内のフロアをドア開時に明るく照らす『ドアモード』と、ライトの点灯に合わせて淡く照らす『イルミモード』を備えた製品となります。

アドバイス

昼間明るい場所で点灯、消灯を確認する場合は灯体部を手で覆って暗くした状態で確認してください。

復元作業

「作動確認」完了後、取り外した部品を元通りに取り付けてください。

ご注意

1. 車両部品組み付け時ハーネスのかみ込みに注意してください。
2. バッテリー（-）端子接続後、初期設定の必要なものは初期設定を行ってください。

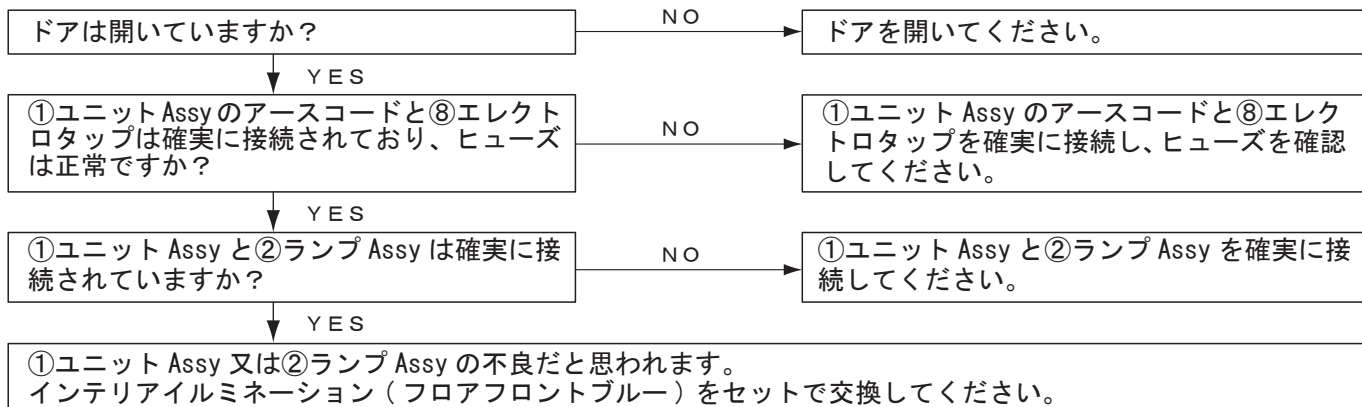
取付店様へのお願い

- お客様に作動モードを説明していただきますようお願いいたします。
- 別冊（別紙）の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

トラブルシューティング

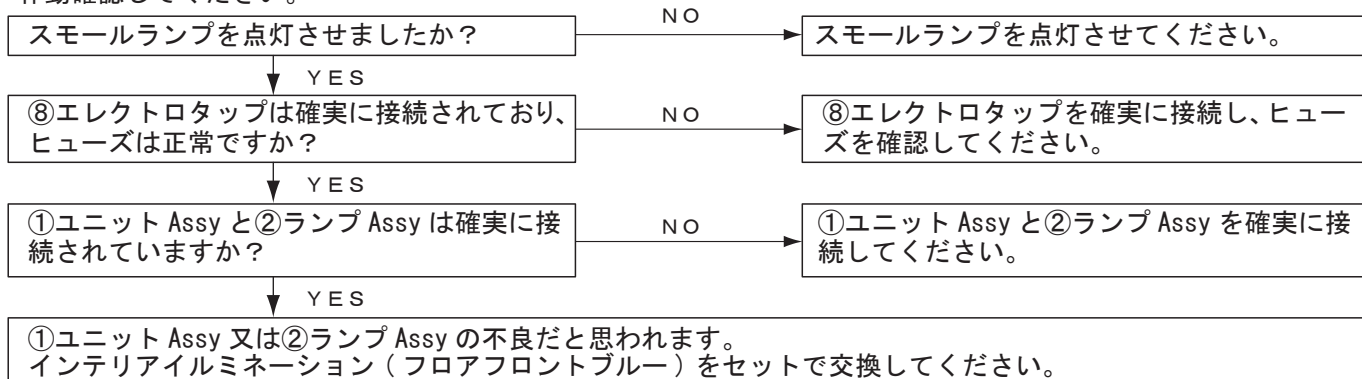
点灯しない

《『ドアモード』：ドアを開いても明るく点灯しない場合》
※スモールランプが消灯してから確認してください。



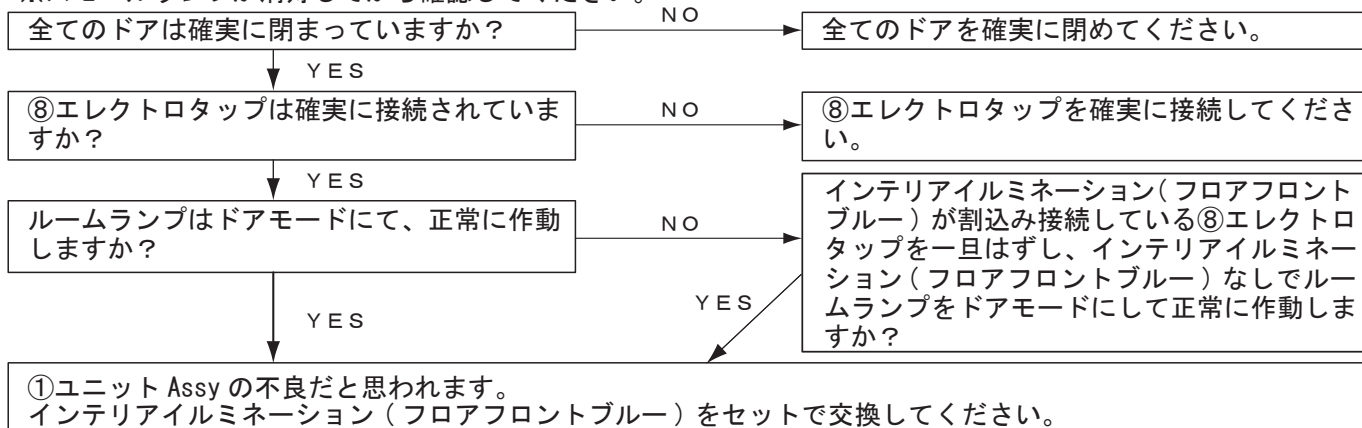
《『イルミモード』：スモールランプ点灯時、淡く点灯しない場合》

※ 全てのドアを閉めてインテリアイルミネーション（フロアフロントブルー）の『ドアモード』の作動が消灯後、作動確認してください。



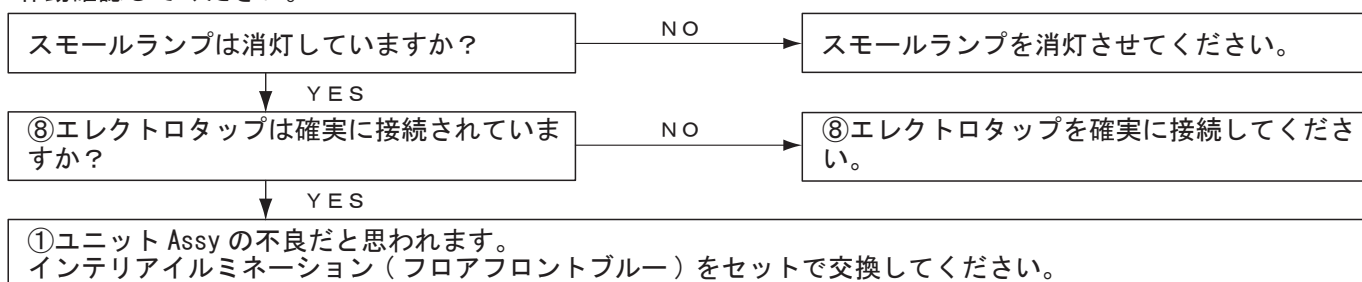
消灯しない

《『ドアモード』：ドアを閉めても消灯しない場合》
※スモールランプが消灯してから確認してください。

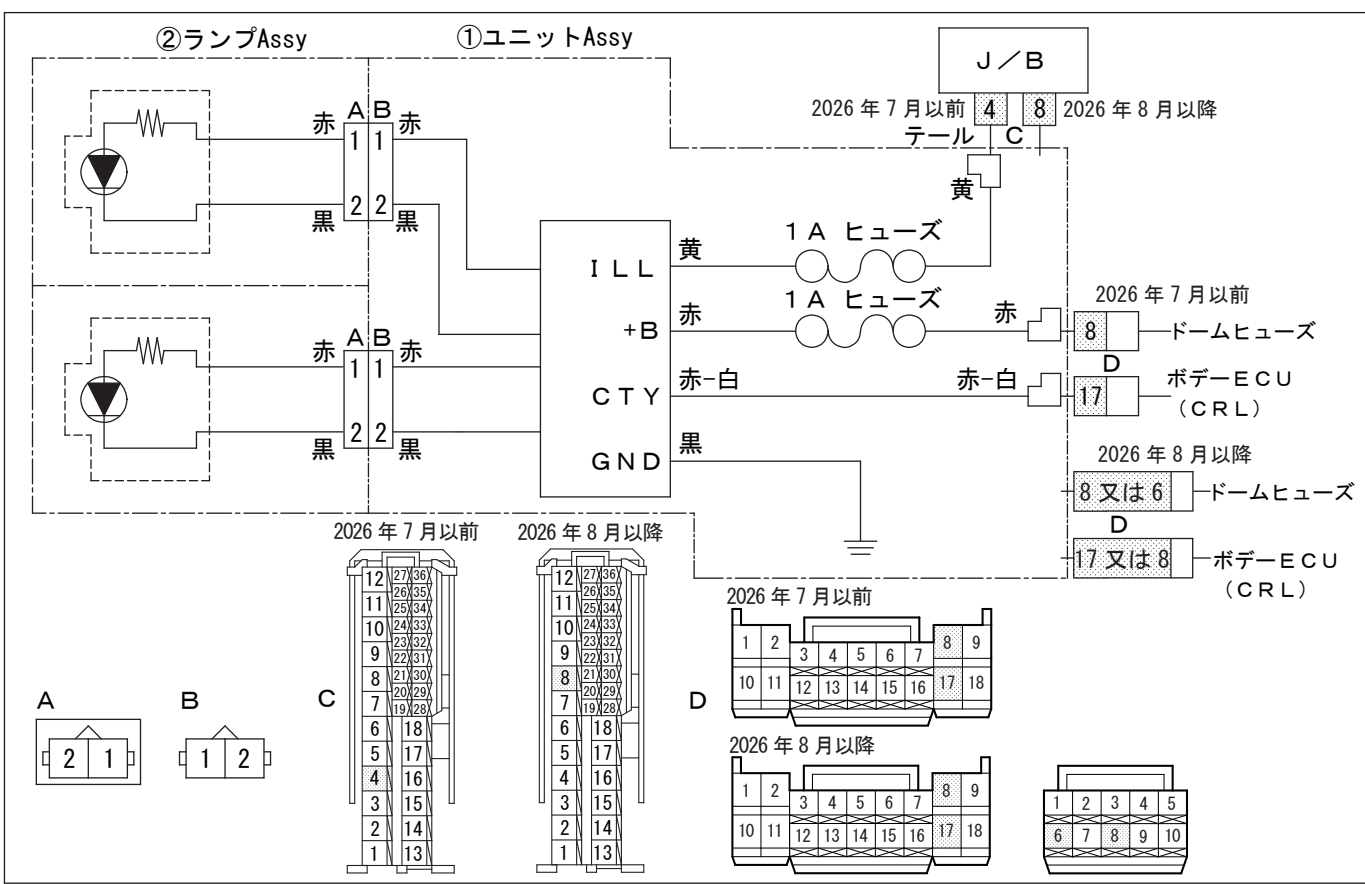


《『イルミモード』：スモールランプ消灯時、消灯しない場合》

※ 全てのドアを閉めてインテリアイルミネーション（フロアフロントブルー）の『ドアモード』の作動が消灯後、作動確認してください。



配線図



※ 上記コネクタ略図は、コネクタ接続側を示しています。

仕 様

項 目	仕 様
定 格 電 圧	D C 1 2 . 0 V
消 費 電 力	1 2 V : 0 . 4 W (ドアモード) 1 2 V : 0 . 2 W (イルミモード)
使 用 電 圧 範 囲	D C 1 0 . 0 V ~ 1 6 . 0 V
使 用 温 度 範 囲	- 3 0 ° C ~ + 8 0 ° C
使 用 光 源	L E D (青)
質 量	1 5 5 . 6 g (⑪取付要領書、⑫取扱書を除く)

注：仕様は製品改良のため予告なく変更することがあります。